

事例紹介 3

自由参加型のサークルで 保護者同士のつながりを再生

津田このみ保育園 (兵庫県・私立)

役員を選出して少人数で話し合う従来の保護者会を改め、自由参加の保護者サークルを発足させた津田このみ保育園。そこには、保護者同士の自然なつながりをつくることで、子育てにかかわる心理的な負担を軽減させるねらいがありました。

保護者が自由に子育てを語り合う「やまももの会」

「やまももの会」では、子育てに関する悩みを参加者が自由に話し合います。そこでは、保育者は保護者同士の交流を促進するサポート役です。保護者の自主性を尊重し、はぐくむ取り組みをご紹介します。

実践

地域住民も参加する コミュニティーを形成

津田このみ保育園が従来の保護者会を改め、自由参加の保護者サークル「やまももの会」を立ち上げたのは2009年4月。保護者会の役員を引き受けることの負担感が大きいことに加え、なかなか時間を合わせにくい保護者同士のつながりをつくり、子育て支援につなげるのがねら

いでした。井上裕子園長先生は次のように話します。

「周囲に相談する人がおらず、育児に悩む保護者がたくさんいます。やまももの会が、子育てに関する情報を交換して悩みを吐き出せる場になればと考えました」

園が地域住民に向けて開放するスペース「わんぱくルーム」で開催されるサークルには、毎回15~20名ほどが参加。早めに日時を決めるこ

とで、都合がつきやすいように工夫しています。椅子をサークル状に並べ、途中の出入りは自由。小さなお子さんを抱っこして参加されるお母さんも少なくありません。園からは、園長先生と子育て支援担当の三輪由香里先生が参加します。

サークルでは、参加者が子育てについて考えていることや悩みを自由に話し合います。例えば、ある保護者が「子どもが悪いことをするとた



「やまももの会」には、保育者と保護者のほか、卒園した子どもの保護者など地域の住民も参加している。



園長
井上裕子先生



子育て支援担当
三輪
由香里先生

たいてしまうが、それが正しいのか自信がない」という悩みを打ち明けると、園長先生は同じ年ごろの子どものいる保護者に「〇〇さんは、どう思いますか」などと話をつなげていきました。また、別の保護者が子どもに愛情を伝えようと懸命になる体験を話したときは、園長先生が「子どもと向き合うって、どういうことだろう？」と、みんなで一緒に考える視点を提示。参加者から体験を交えたさまざまな意見が出されると、園長先生はそれらを踏まえて自身の考えを述べ、話し合いをまとめます。

どを設定していましたが、しだいに保護者同士のネットワークができ、今では自主的に集まることもあるそうです。園の負担が小さくなったこともあり、今年度は1~2カ月に1回ほどの実施を今後は月1、2回に増やして、もっと多くの保護者に参加してもらおう考えだと言います。また5月に開催した料理教室が好評だったため、今後も希望者を集めてイベントを開く方針です。

「保護者に感想をうかがうと、『話を聞いてもらえて気持ちが楽になった』『自分のやり方で間違っていないという自信がついた』など、前向きな声がほとんどです。保護者同士のつながりの良さを自覚するところからスタートして、ゆくゆくは地域社会で活躍できるような人材が育つと良いと思います」(園長先生)

従来の保護者会がなくなることに

自主的に活動を 始める気持ちが生まれる

やまももの会は、在園する子どもだけでなく、卒園した子どもの保護者や祖父母をはじめ、地域住民の参加も歓迎しています。三輪先生がそのねらいを説明します。

「子育ての先輩の話は、とても心に響くものです。とくに、小学校の事情は園の保護者ももっとも知りたいことのひとつ。実際に地域の小学校にお子さんを通わせたかたの話には、みなさんが関心をもっています」はじめは園側がサークルの日時な

より、園行事に協力する保護者が減るのではという心配もありましたが、それは杞憂でした。行事に自主的に協力する保護者は、サークルの参加者を中心に以前よりも増えたそうです。保護者会が主催していたバザーは、今年実施しない予定でしたが、やまももの会の保護者が自主的に企画して開催されました。

口コミによってサークルは徐々に拡大しています。それに伴い、今までの保護者会では見られなかった保護者同士の交流が生まれ、園と保育者との関係も大きく変わりつつあります。

保護者の声

津田珠美さん (5歳児)

◎他の保護者と話していると、「悩みは一緒なんだな」と安心し、解決の糸口が見えることがあります。卒園されたお子さんのいる保護者から経験談を交えた適切なアドバイスをいただけるのも非常に心強いですね。会への参加を通して保育園や園長先生とのつながりが深まったとも感じています。



池田広女さん (3歳児)

◎今回初めて参加しましたが、とても明るく自由な雰囲気でしたので、自分の思いをしっかりと話すことができました。1歳のころとは異なり、2歳児以降はひとりの先生が見る子どもの数が増え、先生とのかかわりが薄くなっていくようで不安がありました。このように情報交換のできる会があると本当に安心です。



藤本恭子さん (卒園者の祖母)

◎2人の孫がお世話になりました。せっかくなつながりが切れてしまうのを残念に思っていたところ、やまももの会の発足を知って参加させていただきました。みなさんと話すだけで楽しいですし、私の話が少しでもお役に立てばなおうれしいです。今後行事などに協力して園に恩返しをしていく考えです。



津田このみ保育園



◎地域の小・中学校や自治会、民生委員、そして家庭との連携を図り、子育て支援事業に力を注ぐ。3~5歳児は縦割りのクラス編成で、いたわりや助け合う気持ちを育てる。「自然教室」をはじめ自然体験も充実。

園長 井上裕子先生

所在地 〒672-8079
兵庫県姫路市飾磨区今在家6丁目133番

園児数 181名 (0~5歳児)

※ ()内は子どもの年齢